

(第9回)

技術ベンチャー叢成ワークショップ

技術開発指向型ベンチャー企業の叢出と自立と成長

□ 第9回目のプレゼンターからの問題提起

技術系ベンチャーの明日を創る

～技術系ベンチャー支援の現場からみた課題あれこれについて～

尾崎 典明 氏 S-factory & Co. 工場長 兼 ビジネスクリエーター

- 日時:2017年1月26日(木) 18:30～20:30 (講演60分、意見交換60分)
- 場所:東京理科大学(神楽坂キャンパス)理窓会館第1会議室
(〒162-0825 新宿区神楽坂2-6-1 PORTA神楽坂6階 アクセス 裏面参照)
- 参加費:会員1,000円、非会員2,000円
- 定員:最大35名(定員になり次第締め切ります)
- 申込方法:FAX(03)6276-2424) またはEメール(office@jpmot.org)にて、
氏名、所属、住所、電話番号、Eメールを明記して、お申し込み下さい。

主催者日本開発工学会からのメッセージ

本会は「ビジネスの創造に関するすべての事柄を研究しようとする学会です」。余田幸雄会員の働きかけにより、「日本では新しい技術指向のベンチャー企業がなぜ成長しない」との課題に、1年近くの準備会合での意見交換を経て、ワークショップという形式で取り組むこと致しました。

ワークショップは、問題意識を会員以外にも共有して頂けるような、多様な方々からの報告を何うオープンなものとし、課題の整理を行い提言に繋げる活動を目的とすることと致しました。

ワークショップ担当からのメッセージ

1970年頃の第一次ベンチャーブーム以来、イノベーションの担い手としてのベンチャー企業は市民権を得るに至っていますが、技術開発指向型ベンチャー、とりわけ実験レベルから実用化まで装置(機器)等を介して先端技術を実用化し事業を成功させようとするベンチャー企業にとってはこの50年間厳しい環境に変化はないと言って過言ではないと思います。我が国でベンチャー企業が活動するにあたり、何が不足しているのか、何が理由で育たないのか、何故成功しないのか。これらの問題を、本ワークショップでベンチャー支援を行ってきた多くのかつ多様な実務家との意見交換を通して浮かび上がらせ、最終的に何らかの形で政策・プラクティスの提言に繋げていきたいと考えております。

余田幸雄 上川晋一郎

●略歴

プレゼンター 尾崎 典明 氏

2009年エスファクトリー創業、これまでに50社超の企業支援実績、主に中小企業、スタートアップへのビジネスコンサルティングを展開、県、地方自治体や伝統工芸品組合、NPO等の地域活性化事業などのサポートも行う。

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)技術委員

独立行政法人 工業所有権情報・研修館(INPIT) グローバル知財マネジメント育成事業 ステアリング

一般社団法人 発明推進協会 研究員

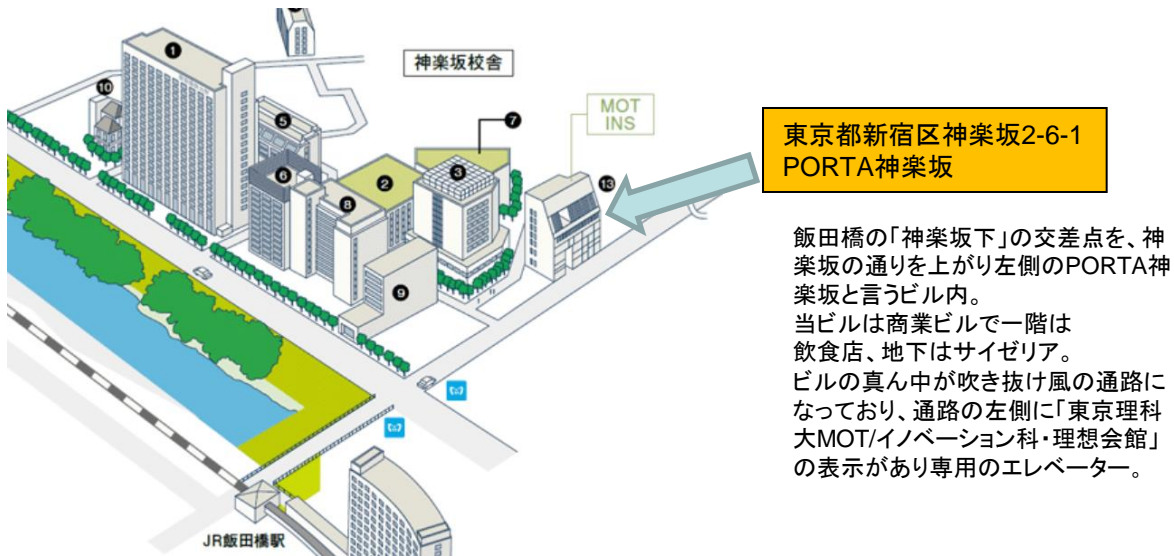
一般社団法人 TXアントレプレナーパートナーズ(TEP) 理事

コーディネーター(ワークショップ責任者・理事) 余田 幸雄

1973年京都大学法学部卒業。通商産業省入省後1978年に研究開発型企業育成センター(VEC)に関わり、その後幾つかの技術関連部署に勤務。1997年6月JETROサンフランシスコ所長に就任。シリコンヴァレーにおけるJETROインキュベーターの創設や我が国の民間の機関との連携等若手進出の環境整備に関わる。2000年通産省を退職。2007年7月からタスク・ヨダとしてベンチャー企業支援活動を行う。

ワークショップ事務局担当 上川 晋一郎

DSP株式会社代表取締役。営業支援アウトソーシング、営業コンサルティング等営業サポートサービス、人材派遣・人材紹介・求人広告代理、福祉介護事業を行う。エスエスネットワーク有限会社を2004年3月に創設後、株式会社化を経て2006年5月に現組織に改組。アーネスト育成財団西河技術経営塾修了(3期生)。



<申し込み> 第9回技術ベンチャー叢成ワークショップ(1月26日)と明記の上、下記項目に記入の上、FAXまたはeメール(office@jpmot.org)でお申し込み下さい。

●氏名： _____ ●所属： _____

●住所： _____

●電話番号：(____) _____ - _____ ●eメール： _____